



予選前日から冷たい雨が降り、吐く息が白くなる程の寒い中で向かえた最終戦。10年振りに行われる2レース制は、大量のポイント奪取のチャンス。各チームからこれまで以上の気合と緊張感の感じられる中スタートが切られた。

10/20(SAT) 予選レポート

天候:晴れ 路面:ドライ

■ 冬の到来を肌で感じる寒さの中、鈴鹿で初採用となるノックアウト方式の予選が行われた。第6戦の岡山ではトップグループに迫る走りを見せ、今回トップグループ入りを狙う今野だが、前日行われたフリー走行では雨の為に予選に合わせたセッティングを出す事ができず、予選日当日の短い時間でセッティングを出す事となった。ファーストクオリファイでは2'12.067のタイムでセカンドクオリファイの進出を決める。目標であった11秒台でセカンドクオリファイ進出と言う目標をクリアすることができずにいた。セカンドクオリファイでは2'11.307とベストタイムを更新するが狙い通りのタイムが出ず、17位の結果となりサードクオリファイへの出場権を逃す。このセカンドクオリファイでは2'07.882から2'07.788へとコースレコードが更新される等、非常にハイレベルな戦いだった事が分かる。しかし、サードクオリファイが終わった後に残ったリザルトは更に驚かされる結果となっていた。上位5チームが7秒台を叩き出し、新たにコースレコードも2'07.412と更新されていた。

予選タイム:2分 11秒 307 17位

予選終了後、今野のコメント

レインコンディションだったとは言え、事前テストではアベレージタイムを安定させることができなかった。予選でこの状況を払拭したかったが流れを変える事ができずにいた。アタックラップでタイムを詰めることに集中したがそれがかえってリズムを崩す事になってしまい、狙っていたタイムに縮める事ができず不本意なタイムのまま終えてしまった。



10/21(SUN) 決勝レポート

天候:晴れ 路面:ドライ

■ ますます冷え込む中、今年のレース結果の全てが決まる最終戦、観客からの応援にも熱が入る決勝日を迎えた。10年振りとなる2レース制となった今回は最大56ポイント獲得となる大逆転を秘めた一戦。どのチームも気合の入りが違う。

そんな中迎えたレース1、ウォームアップラップが開始される時にコース内に小動物が乱入、スタートディレイとなる。更にウォームアップラップが開始された直後、1コーナーで上位グループの2台が転倒、リタイアとなる。そんな波乱を予想させる幕開けの中17番グリットからスタートした今野は、開始早々に順位を2つ下げてしまうが、すぐに体制を整えて元の順位を取り戻す。目標であるトップグループでの戦いを果たす為、更なるポジションアップを計るが、ハイレベルなレースで思う様に順位を上げる事ができずにレースは終盤を迎える。その終盤に12位まで順位を上げる事に成功するが、ラストラップにチェッカーを目前にしてその座を奪われ、前車との差0,1秒で13位に終わる。

決勝 レース1 13位

■ 期待と不安を秘めたレース2、ピットウォークとGP125クラスの決勝レースを挟んでスタートが切られる。無事にスタートが切られウォームアップランが開始されたが、グリットに戻った上位チームにマシントラブルが発生しリタイアとなる。これによりウォームアップラップから仕切り直しとなり、レース2は1周減算され14周で争われる事となった。レース1同様17番グリット、14位からスタートを切った今野は、レース1よりも速いペースで序盤の周回を重ねる。このままの勢いでポジションアップを計りたい所だが中盤からペースが上がらない。この時今野は、体に負担のかかるハイスピードな戦いを2戦連続して走らなければならない2レース制の厳しさを体にかけていた。シリーズ中盤のテスト走行で転倒した際に負った腰の痛みが再発。スピードを乗せて切り返す区間では体がこらえきれず、コーナーリング中のマシンを支える事が精一杯だった。ペースアップが計れないながらも順位をキープし、そのまま14位でチェッカーを受ける。目標は一桁台入賞であったが、狙った通りに進めれないレースの厳しさを実感させられる一戦となった。

決勝 レース2 14位

決勝終了後、今野のコメント

レース1では1周目にタイヤが冷えている時に順位をさげてしまった。その後予選時に近いタイムをアベレージとして順位をキープして走ることができた。

レース2では序盤にペースアップをする事に成功した。そのままペースアップを狙ったが中盤以降に体力的に厳しくなり、狙ったペースをキープする事できなかった。

今回は事前テスト開始時から組み立てがうまくいなくて、目標のタイムを達するに至らなかった。今回の目標であったトップグループでのレースを実現する事ができず、終始セカンドグループ内でのレースで終わってしまった。思い通りに進めれない内容で悔しい結果に終わりました。

2007 MFJ-GP ポイントランキング
Deotex PANTHERA PLOT 15位 今野 由寛 16位

